



沖縄地区税関 管内貿易概況（確定） 令和3年分

（増減・伸率は対前年比）

●令和3年のポイント

●輸出

・輸出総額は449億85百万円、対前年比54.5%増(2年ぶりの増加)

- ・主な増加品目は「石油製品」(全増)、「再輸出品」(42.9%)、「金属鉱及びくず」(95.7%)
(主な減少品目は「一般機械」(▲40.3%)、「魚介類及び同調製品」(▲70.3%)、「輸送用機器」(▲24.3%)
- ・国(地域)別構成比は韓国(36.7%)、オーストラリア(19.4%)、台湾(11.7%)、シンガポール(5.0%)、香港(4.8%)

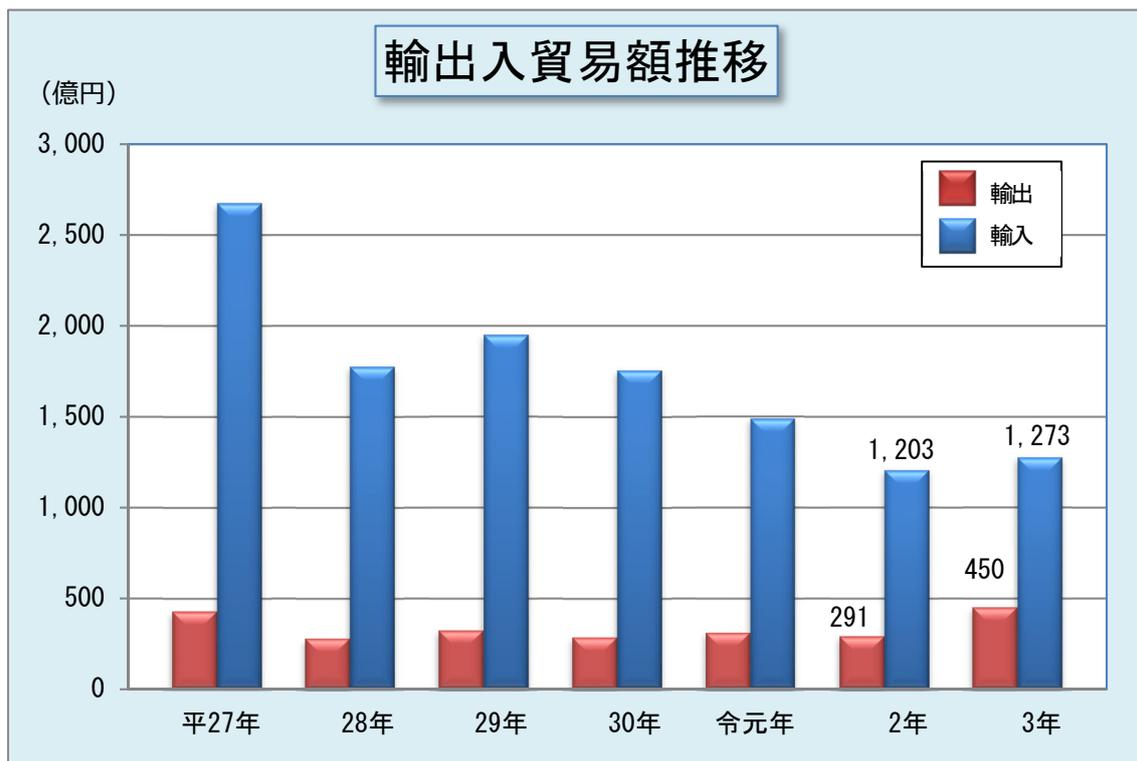
●輸入

・輸入総額は1,272億64百万円、対前年比5.8%増(4年ぶりの増加)

- ・主な増加品目は「石炭」(59.5%)、「その他の動植物性原材料」(8.6倍)、「その他の雑製品」(55.6%)
(主な減少品目は「原油」(▲11.9%)、「石油製品」(▲22.7%)、「金属製品」(▲36.0%)
- ・国(地域)別構成比はオーストラリア(22.9%)、中国(14.0%)、サウジアラビア(11.9%)、インドネシア(9.0%)、アメリカ(8.0%)

●差引

・差引額は822億79百万円の入超（前年は911億97百万円の入超）



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 再輸出品 (175億20百万円、42.9%)	38.9%	韓国(146億43百万円、殆全増) シンガポール(14億9百万円、2.8倍)
2 石油製品 (81億20百万円、全増)	18.1%	オーストラリア(81億20百万円、全増)
3 一般機械 (43億24百万円、▲40.3%)	9.6%	台湾(7億47百万円、▲82.9%) アメリカ(5億95百万円、2.1倍)
4 金属鉱及びびくず (36億45百万円、95.7%)	8.1%	韓国(11億87百万円、2.6倍) ベトナム(10億96百万円、94.8%)
5 パルプ及び古紙 (23億66百万円、74.7%)	5.3%	台湾(13億47百万円、2.7倍) インドネシア(4億14百万円、41.4%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 石油製品(+81億20百万円、全増) オーストラリア</p> <hr/> <p>2 再輸出品(+52億55百万円、42.9%) 韓国、シンガポール</p> <hr/> <p>3 金属鉱及びびくず(+17億82百万円、95.7%) 韓国、ベトナム</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 一般機械(▲29億25百万円、▲40.3%) 台湾、香港</p> <hr/> <p>2 魚介類及び同調製品(▲4億49百万円、▲70.3%) グアム、香港</p> <hr/> <p>3 輸送用機器(▲2億63百万円、▲24.3%) ロシア、タイ</p> <hr/>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 韓国 (164億89百万円、19.1倍)	36.7%	再輸出品(146億43百万円、殆全増) 金属鉱及びびくず(11億87百万円、2.6倍)
2 オーストラリア (87億10百万円、49.4倍)	19.4%	石油製品(81億20百万円、全増) 一般機械(3億42百万円、3.1倍)
3 台湾 (52億47百万円、▲24.1%)	11.7%	パルプ及び古紙(13億47百万円、2.7倍) 鉄鋼(11億18百万円、2.7倍)
4 シンガポール (22億64百万円、2.0倍)	5.0%	再輸出品(14億9百万円、2.8倍) 肉類及び同調製品(1億85百万円、2.7倍)
5 香港 (21億60百万円、▲25.8%)	4.8%	肉類及び同調製品(8億7百万円、2.2倍) 再輸出品(3億51百万円、▲61.9%)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)		構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1	石炭 (199億66百万円、59.5%)	15.7%	オーストラリア(109億35百万円、53.3%) インドネシア(74億92百万円、70.7%)
2	天然ガス及び製造ガス (168億15百万円、▲2.5%)	13.2%	オーストラリア(167億85百万円、▲2.4%) 韓国(30百万円、▲22.5%)
3	原粗油 (151億6百万円、▲11.9%)	11.9%	サウジアラビア(151億6百万円、▲11.9%)
4	肉類及び同調製品 (102億32百万円、17.9%)	8.0%	デンマーク(27億6百万円、23.7%) スペイン(16億88百万円、63.9%)
5	一般機械 (67億11百万円、▲12.9%)	5.3%	カナダ(22億11百万円、殆全増) ドイツ(13億57百万円、0.1%)
増加品目(増加額・伸率)		主な増加国(地域)	
1 石炭(+74億47百万円、59.5%)		オーストラリア、インドネシア	
2 その他の動植物性原材料(+22億7百万円、8.6倍)		インドネシア、台湾	
3 その他の雑製品(+21億62百万円、55.6%)		フランス、タイ	
減少品目(減少額・伸率)		主な減少国(地域)	
1 原粗油(▲20億36百万円、▲11.9%)		サウジアラビア	
2 石油製品(▲14億28百万円、▲22.7%)		韓国	
3 金属製品(▲10億37百万円、▲36.0%)		中国、韓国	

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 オーストラリア (291億59百万円、14.0%)	22.9%	天然ガス及び製造ガス(167億85百万円、▲2.4%) 石炭(109億35百万円、53.3%)
2 中国 (177億96百万円、▲8.9%)	14.0%	石油製品(27億15百万円、31.0倍) その他の雑製品(19億40百万円、2.7%)
3 サウジアラビア (151億97百万円、▲11.8%)	11.9%	原粗油(151億6百万円、▲11.9%) プラスチック(88百万円、6.8%)
4 インドネシア (114億29百万円、70.3%)	9.0%	石炭(74億92百万円、70.7%) その他の動植物性原材料(21億92百万円、殆全増)
5 アメリカ (102億13百万円、▲10.9%)	8.0%	電気機器(15億17百万円、21.7%) 穀物及び同調製品(13億62百万円、31.6%)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650



令和4年5月15日に沖縄地区税関は
発足50周年を迎えたワン！